平成25年度 一般会計補正予算

《主な質疑》

日赤改築の意義と重要性

問 日赤改築工事は、民間の事業なのになぜ町が建設費の一部を負担しなくてはならないのか。

答 日赤建て替え促進協議会で、次の5項目により建て替えの重要性と支援の意義について確認されました。

①第2次救急医療機関である ②埼玉県がん診療指定病院認定を受けている ③精神病床の確保 ④災害拠点病院指定を受けている ⑤法的指定公共機関である

さらに、この地域の高度医療と緊急体制の充実に大きく貢献し、住民生活の安全・安心な環境を創造することができます。

問 日赤改築について、住民への具体的な説明が必要では。

答 今後広報等で経緯を含め、丁寧な説明をしていきます。

小川赤十字病院第１期工事　完成イメージ

納税コールセンターとは

問 納税コールセンターについて具体的な説明を。

答 町税現年度分の未納者に対し、電話による自主的納税呼びかけを行なうものです。

問 どの時期に呼びかけを行なうのか。対象者と取り扱い税目は。

答 時期は督促状発送後で、未納者が対象です。取り扱い税目は、町県民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税です。

問 偽装請負のおそれはないのか。場所はどこか。民間委託になった場合、漏えいの不安はないのか。

答 県の補助事業で、業務委託業者設置の場所で事務所を開設し、電話による納税コール業務を行なっていただきます。現在、県内63市町村中22の市町で実施しています。

漏えいについては、業務委託仕様書の中で守秘義務契約を取り交わし、さらに個人情報取り扱いに関する覚書で徹底します。

問 再任用、正規職員ということにならないのか。

答 この事業は平成26年2月から3月末までの期間とし、月曜から日曜日の全日、午前9時から午後8時まで電話での呼びかけを予定し、月800件を積算しています。通じない場合でも、3回は連絡をしていただきます。

現在も職員等で納税呼びかけを行なっていますが、さらにコールセンターからの自主納税の呼びかけを行なっていきます。

条例の制定・改正

《主な質疑》

リリックを町直営の管理に

問 指定管理者制度から町直営に改める理由は。

答 建屋本体の老朽化や照明・音響等の設備も更新の時期を迎えています。今年度末に出される耐震診断の結果を踏まえて、改修さらには改築も視野に入れ、町直営で進めていきます。

問 平成18年度から指定管理者制度を採用して8年。住民サービスの向上とコストの削減を主目的に進められてきたが、総括をお願いしたい。

答 指定管理者制度を導入した平成18年度から、毎週月曜日の休館日だったものを月1度に改めました。また、平成21年の更新時には意見箱を設置し、利用者のご意見やご要望にお応えしてきたところです。さらには、平成24年の再更新時に当たり、ホームページを開設し、住民の皆様にその役割を広く周知してきました。

コスト面においては、制度導入前後の平成17年度と18年度の比較で年間230万円の減、さらに平成24年の更新時には年間300万円の削減が図られました。

問 大規模な改修・改築も視野に入れるということだが、民間資金を利用したPFI※の導入は。

答 来年度以降、リリックに限らず、町有建築物のアセットマネジメント※の構築を図る中で、施設の統廃合を視野にコストの削減に努めていきたいと考えています。

問 多方面で活躍しているウインドアンサンブルや和紙のふるさと児童合唱団は、リリック（文化協会）が育成してきた団体と言っても過言ではない。運営の変更に伴い、今後の活動に影響はないのか。また主催してきた各事業の展開は。

答 文化協会の行なう自主文化事業に対し、補助金を支出して対応します。各団体においても、今までどおりの活動・活躍をいただけるものと考えています。

問 職員体制は。

答 町職員を副館長として配属し、文化協会の職員に対する指導・監督を徹底します。

公平委員会を共同設置する目的は

問 共同設置することのメリットは。

答 利益は、中立性・独自性が高まり、事務の効率化・負担軽減によりコスト削減にもなります。また職員の苦情相談がしやすくなります。

その他

ウインドアンサンブル恒例のクリスマスコンサート

すたむちゃんのひと☆メモ

※PFI…Private Finance Initiative（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）。公共施設等の建設・維持管理・運営等を民間の資金・経営能力及び技術的能力を活用して行なう新しい手法。

※アセットマネジメント…株式・債券・投資用不動産、その他金融資産の投資用資産管理を、実際の所有者や投資家に代行する業務。